

令和5年度 胎内市観光活性化推進委員会〈第1回〉 議事録

**1 日時**

令和5年7月27日（木）午後1時30分～3時30分

**2 会場**

胎内市役所 2階 大会議室

**3 出席委員**

高橋晃会長、平川啓一副会長、市野瀬登委員、守屋邦彦委員、須貝建雄委員、佐藤稔委員、森麻衣子委員、布川拓男委員、神田圭奈観光振興推進サポーター

**4 会議次第**

- (1) 委嘱状の交付
- (2) 第2次胎内市観光振興ビジョンの達成状況について

**5 会議経過**

別紙のとおり

## 会議経過

### 1 開会

【あいさつ（高橋副市長）】

【自己紹介】

【会長、副会長選任】

会長 高橋副市長

副会長 平川観光協会会長 を選任

### 2 議題（1）

#### ○高橋会長

引き続き会長を務めさせていただきますのでどうぞよろしくお願ひいたします。それでは議題の第2次胎内市観光振興ビジョンの達成状況につきまして、事務局から説明をお願ひ致します。

#### ○事務局比企主任

（説明1）

#### ○高橋会長

振興ビジョンの全体を見た時にこういう進捗ですということで説明がありました。皆様から何か質問ございませんか。はいお願ひします。

#### ○佐藤委員

主要宿泊施設の延べ宿泊数は胎内市全体の宿泊施設からの人数という事ということですが、それに対してリピーター率はロイヤル胎内パークホテルだけのデータなのですよ。全体の宿泊施設に対してのリピーター率は出さなくていいのかなと思ったのですけれど、こちらだけリピーター率というのがどうなのかなと、比べる数値としてどうなのかなと思ったのと、あと質的目標の満足度の宿泊施設のパーセントというのは、どこの施設なのですか、全体なのですかロイヤル胎内パークホテルだけなのですか。さっき言われたオンラインのものなのですか。

#### ○事務局比企主任

満足度についてはオンライントラベルエージェントに載っている宿泊施設だけになります。

#### ○佐藤委員

質的目標は全てオンラインのそのデータの事だからそのオンライン上に出ている施設のデータしかないのですよ。

#### ○事務局比企主任

楽天、じゃらん載っていた市内の宿泊施設になるので、具体名を上げるとロイヤル胎内パークホテル、奥胎内ヒュッテ、中条グランドホテルの3つになります。質的目標の満足度については。

#### ○佐藤委員

じゃらんさんは確か村上屋さん和伊勢屋さんはあると思いますが。

#### ○事務局比企主任

口コミが出ている所のみになるかと思ひます。

#### ○佐藤委員

わかりました。ありがとうございます。

○事務局比企主任

主要宿泊施設のリピーター率の方になるのですけれども、これもしアンケートにお答えいただけるのであれば、今後リピーター率ということで現在は宿泊者数の全体と観光の割合をアンケートで伺っていると思うのですけれども、それプラス大体のリピーター率みたいなのを項目に加えれば把握することが可能なので、もしご協力いただけるようであればぜひお願いします。

○佐藤委員

うちの方は協力すると思います。

○高橋会長

佐藤委員よろしいでしょうか。他ございませんか。布川委員お願いします。

○布川委員

量的目標の件ですけれど、売上高6億円という目標ですね。字面だけ見ると6.91億円ですからほぼキャッチアップしているというように見るのですけれども、このままで行くのですか。この目標、特別な6.91億円なのか7億円に対する攻め方というか、もういいのかという話なのだけれど、

○事務局比企主任

こちらについては目標値の7億円を設定した時の積み上げがどのようなものだったかというのがちょっと確認しきれていないので、

○布川委員

とは言っても同じ項目を引っ張ってきている訳でしょう。その何ですか対象は。

○事務局比企主任

今後、上方修正するとかそういうのも考えて行きたいと思います。

○高橋会長

今の、宿泊人数自体が当初目標が28,000人の所35,000人ともう目標を大きく上回っている訳ですよ。だから当然売り上げも上がるはずなので、最終目標が令和10年度というふうに置いてあるので事務局からも話があった通り、途中でローリングして目標を更に上に持って行くとかという事は必要だと私は思います。

○布川委員

わかりました。お願いします。

○守屋委員

1点いいですか。今の話で全然表中もちろん状況に応じて見直して行く事は大切なことだと思いますけれど、一方で令和4年度がいろいろな旅行支援だとかキャッシュバックだとかというのと、あとはおそらく比較的近場に旅行するマイクロツーリズム的な話で、ある程度近隣で過ごすというところで上がっている可能性があるかも知れないです。令和5年度でまたその辺がかなりコロナ前に戻ってきたとすると、もしかすると昨年度よりも下がる可能性はけっこう否定はできないのかなというふうに思うと、その辺ちょっと状況を見つつ、やはりこれがそういう事によって一時ぐっと上がったものなのか、本当に引き続き上がるのかというのはその辺を見ながら考えて行くというのが必要なのかなというような感想を持ちました。

○高橋会長

ありがとうございます。他はいかがでしょうか。無いようですので、引き続き資料2のアクションプランという事でよろしいでしょうか。説明をお願いします。

○事務局比企主任

(説明2)

○高橋会長

今、事務局からプロジェクト1からプロジェクト3までの説明がありました。皆様から何か質問ご意見はございませんか。布川委員をお願いします。

○布川委員

5ページ、1番目の新規造成プログラム数、目標4種に対して実績が11あると、これは数字だけを見ると見事なのですけれども、以下、来年度は11はキャンセルしてもう1回OKずつ積み上げて行くということでOKですか。

○事務局比企主任

おっしゃる通りで、毎年新しいのを最低でも4つはという事です。

○布川委員

了解しました。

○高橋会長

他はいかがでしょうか。

○守屋委員

その他の質問なのですが、先ほど5ページの所で新規の造成とか11種類という事で23ページの所で、ビジョンの(1)のところでは11ありますよという話を頂いていたと思うのですね。それと同じ見方をすると7ページで食と生活文化のやつは新規が2種類で提供が6種類と書いてあると思うのですが、次の23ページの方で見ると6というのは提供された6という事ですよね。一応新規が11という感じですが、これは新規ではなくて普通の提供された全体が6というそういう表という事ですね。

○事務局比企主任

そうですね。表が見にくくて大変申し訳ないのですが、この場合は2の(1)に○がついていて、尚且つ1の(1)に○が付いていると食生活関連の新規になります。説明不足で申し訳ございません。

○守屋委員

両方ついていれば新規という事ですね。わかりました。

○高橋会長

他はいかがでしょうか。布川委員。

○布川委員

9ページのこの1件というのは台湾の方の雪の中を歩くというそういうプログラムだと聞いたのだけれど、この立てつけとかキャッチコピーというとなんなストーリー立てで集まって来たのだろう。ホテルに行ったらたまたまあったのか、これがあるから来てねと言ったのか。

○神田サポーター

ツアーに組み込んだのではなかったでしたか。

○事務局比企主任

アクティビティジャパンというホームページがあるのですがけれども外国の方向けの、そこで体験付の宿泊プランという形になっているので、どちらかというと雪の中で歩く写真がメインとして載っていて、ここにも泊まれるよという、どちらかというと体験メインの方から入ってくる。

○布川委員

私にすればあんな雪原歩いて何が面白いのだという話なのだけれども、そういう所に魅力を感じた訳ですね。ということは雪の中ではなくてその辺の原っぱだっていい訳だよな。

○守屋委員

雪という事にやはり台湾とかはなかなか雪の無いところが、雪を見たい、ただ見るというだけでも喜ぶ外国の方がすごいいっぱい、我々の想像以上にいっぱいいるのではと思います。

○布川委員

そうするとガンガン売り出せばいいよね。

○高橋会長

はい、ありがとうございました。その他よろしいでしょうか。それでは全体を通してまたご質問ご意見いただきますので、一旦プロジェクト3まではここで区切らせていただきまして、それに続いて4から説明をお願いします。

○事務局比企主任

(説明3)

○高橋会長

事務局から説明がありましたが、それに関してはいかがでしょうか。布川委員をお願いします。

○布川委員

26 ページ、ハードの工事費ですけど、ロイヤル胎内パークホテルのリゾートプール改修というのは内々に聞いたらボルダリングだと聞いたのですが。

○事務局比企主任

グランピングです。

○布川委員

わかりました。それとスキー場の令和4年度の非常用発電機改修工事、2億円という数字なのだけど、これはどういう時の非常用。

○事務局斎藤係長

消防法にのっとって電源が落ちた時に火災の通報とか排煙窓とかそういうものを発電するという部分になります。

○布川委員

ロッジの中、それが2億円かかるのね。停電になったらリフトなんか止まってしまうでしょう。

○事務局斎藤係長

そうですね。

○布川委員

私はそっちなかと思ったのですが違うんですね。

○高橋会長

他はよろしいですか。それでは続きまして 16 ページからになりますか。プロジェクト 7 からお願いします。

○事務局比企主任

(説明 4)

○高橋会長

ただいまの説明で何かご不明な点ございますか。須貝委員お願いします。

○須貝委員

胎内タク旅割キャンペーンの件、前回の会議でどういったターゲットを目指しているのか。たまたま駅に着いた人がチラシを見て交流センターに行って依頼をするのか、そんな話が出ていたと思うのですが、実際利用されている感じではどういう割合でしょうか、ポッと来た人が使っているのか、ちゃんと調べて予約して使ったかどうなのか。

○事務局山崎主事

令和 4 年度の 12 月からタク旅割制度を始めましたが、利用者数が 11 件ございました。その内中条駅にフラッと来て、中条駅に来た時点でタク旅割を知らずにポスターを見て利用した方、これと事前にあらかじめホームページまたはパンフレットでタク旅割を知って中条駅へ来た方、約半数ずつの結果になりました。これにつきましては令和 5 年度も 15 件ほどすでにご利用いただいておりますが、同じように半々という傾向になっております。その他、ロイヤル胎内パークホテルでその情報を聞いた人だったり、人伝えに聞いたという話も 1 件ずつですかございます。

○須貝委員

どっちに特化した P R をする方が伸びて行くのかなというふうなのを考えた場合どうなのでですか。皆さんどう思いますか。

○事務局比企主任

理想は出発する前に分かって、これがあるなら行ってみようというのがおそらく理想だと思いますので、昨年度の会議以降バナーを作って貼って頂いたりというところはしていますが、まだそれでも半々なのでそのあたりもう少し P R の余地はあるかなと思います。

○守屋委員

逆に今のその流れはその場で来た人というのは元々はどうしようと思って来ていたのかというのは何か分かるのですか。自分でお金を払ってやろうとしていたら、「これがあるならより得だ」なのか、何かその辺って何か分かりますか。

○事務局山崎主事

基本的に利用者の大半が関東圏、若しくは関西圏から胎内市の方に来ていただいている方で、主に目的地として多いのが時期的なものでいますとチューリップフェスティバル、若しくは樽ヶ橋エリア、こちらに観光で来られている方が多いようです。免許証の有無もアンケートを取っているのですが、基本的に免許証を持っている、年齢層で言うと 70 代以上の高齢の方が利用されていますので、基本的に高齢の方が来てある程度目的地を絞って中条駅まで来ていただいているものかなと認識はしています。

○守屋委員

ありがとうございます。

○高橋会長

他はいかがでしょうか。布川委員。

○布川委員

16 ページにレンタサイクルの使用実績 199 件、表を戻して 3 ページの表を見ると、「×」になっているけれど何故に「×」になっているか。随分と厳しくいったねという感想ですが。

○事務局比企主任

基本的には数字が達していない項目は「×」を付けさせてもらいました。

○布川委員

了解です。

○高橋会長

それではプロジェクトの 8 番までを一区切りにして、プロジェクト 9、10 お願いします。

○事務局比企主任

(説明 5)

○高橋会長

事務局からプロジェクト 9、10 について説明がありましたけれども、ご質問ご意見ございませんか。神田さん。

○神田サポーター

20 ページの実績、8 名 1 団体というのはこれはどなたですか。

○事務局比企主任

観光協会で今受付を行なっている方の数が 8 名 1 団体ということで個人の方 8 名 1 団体となっています。

○神田委員

発掘したい数が 15 人ということですか。これは稼働の数がではなくて発掘ですよ。

○事務局比企主任

常時 15 人いたらいいかと、まだそれには届いていないと、

○神田委員

今活動しているのは 8 名 1 団体。ありがとうございました。

○高橋会長

はいよろしいでしょうか。布川委員。

○布川委員

このボランティアガイドなのですけれど、今の定義は観光協会の Web の中にこの人ですよとアップしている人達だと思うのだけれど、それをかき集めるため 6 月の市報で募集したと、観光協会の Web で募集はしていましたが結果はどうですか。

○事務局山崎主事

問い合わせは 1 件ありましたが、登録には至っていないような状況です。

○布川委員

そういうことでしょうか。待っていたら絶対来ないよ。取りに行くしかないですよ、来なければ。みんながそういう素質を持っているのですものね。胎内検定実行委員会なんてもう剣客ぞろいですよ。あの中を見ると、あの中に 10 人位か記憶で忘れたのだけれどああいう人達をピックアップ

ップしていかないとこれは積み上げられないよ本当に。真面目な話。隣のおばさんでもいいのですよ。うちの畑作りを教えてやるとかね。そういうレベルの頭数が揃わないと、このビジョンを仕上げて行くための人員という部分の繋がっていくと思うのだよ。市民の役割というのがあったではないですかビジョンの中にと私は思います。

○高橋会長

先ほど事務局からも二の矢、三の矢というふうな事で話がありましたけれども、より積極的な声掛けとかお願いしていくという事でよろしく申し上げます。それでは続きまして横断の1、2ということで説明をお願いします。

○事務局比企主任

(説明6)

○高橋会長

横断的取り組みにつきまして説明がございましたが、質問ご意見ございませんか。

○守屋委員

21 ページの横断1の(2)という所で戦略的ミーティングの所で統計データとかいろいろアンケート等を見ながら色々と商品造成されているという話だと思うのですよね。ちょっと戻ってしまうのですが、18 ページの所でプロジェクト9のところで「観光に関する各種統計の整備」という事で調査をやってきたという実績が書かれていますけれど、このどのようという所に施策に反映させる専門的な市場調査の必要性も検討という文言があるのですが、戦略的ミーティングの中で必要性があれば何かをやるとかそういう検討をということだと思ったのですが、何かこの辺で議論をされたりとか今後こういう物が必要だみたいなお話があったのかなという質問です。

○事務局比企主任

今の所、予算をかけてまでの大規模なのは難しいと考えておりますが、県の方で「新潟県観光ファンづくり推進協議会」という協議会がありまして、そちらの方で割と大規模な市場アンケートみたいなものを実施しているので、それがフィードバックされるてくると思いますので、その辺りを活かしていけたらなと考えております。

○守屋委員

分かりました。ありがとうございます。

○高橋会長

他はございませんか。はい布川委員をお願いします。

○布川委員

22 ページの横断の(1)胎内リゾートさんの事柄と理解していいですかね。ここに書いている事は。

○事務局比企主任

はい。

○布川委員

その中に実績として要は取締役等によってスケジュール検討をやっていると、これは当たり前前の話だと思うのですが、立ち入った話を質問するのですが、職員の改善提案とかですぬそいう意見の吸い上げとか、そういうことはなされているのかちょっと知りたかったのです。

○市野瀬委員

定期的な面談といたしますか、あとはスキルアップのための研修会みたいなものは行っていません。

○布川委員

今のこうやったらもっと業績が上がるのではないかとか、この辺を削減したら少し効率的になるのではないかとかそういうレベルの提案活動みたいなのはやっておられるのですか。

○市野瀬委員

基本的にはやっていません。

○布川委員

ないのですか。私がある企業にいたときは、言い方は悪いのですが月何件改善提案を出せと、そういうふうに苦しめられた。それだとやはり資質が上がっていくと思う。そういうのを考えた方がいいのではないかななんて思いました。あと立ち入った事を聞きますけれども、32 ページに営業展開というものがあるのですけれども、それぞれセクションにおけるキャッチコピーみたいな、どうなっているのかなと思ってホームページを読ませてもらったのですよ。例えばみゆき庵のキャッチコピーだと思うのですけれども、「石臼引き自家製手打ちそば」と書いているのですね。そういう理解でよろしいですか。各ページの所に文字がちょこちょこ書いてあるのですけれど。

○市野瀬委員

希望的観測ではあるのですけれども、なかなか手打ちそばというのがそば打ち職人が不足しているという事は事実としてあるのですけれども、確かにこれキャッチコピーって今までそのようにやってきたという所を今かろうじて継続しているという所でこの文言にはなっています。

○布川委員

ロイヤル胎内パークホテルという所のキャッチコピー的な文言を拾い集めていたら4つ位あるのですね。「四季折々の表情を楽しむ胎内の雄大な自然」とかですね。結果的に言うとこれで人が来るのかななんて、もっと楽しいキャッチコピーができないのかななんて思ってしまう。

○市野瀬委員

楽しいという意味でいうと何があるかという所になると思うのです。

○布川委員

例えば川の上をロープで渡して渡れるものとか。

○市野瀬委員

その場だとかそういった物を作りあげなければいけないという事と、人の問題というか何とかと思うのですけれど、ターゲットをグループに持って行くか個人に持って行くかという所で若干焦点がずれてきていますね、おっしゃる通りだと思うのですけれど、なかなか個人のお客様たち全体にいろんな事を提案していくと、逆に乱雑になってしまってちょっと難しい所はあると思います。例えばサップというもので川で遊ばせようとかしてそれをプランニングしたのですけれど、なかなか自社だけでやるかというとなかなか難しくてヨリシロさんをお願いをしたりとかという事にもなってくる。そう言った事には着手はして来ています。

○布川委員

プール改修のボルダリングを何か面白いのをやろうとしているなと思ったのは違ったのです

けれどね。ボルダリングが良いなと思ったのですよ。

○市野瀬委員

グランピングは実はワーケーション事業の中で一度手掛けていて、これはなかなか効果的であるのですが、たまたまその時は通常のテント張りを選んだばかりにサルに襲われてしまい、そこから復活しなかった。設備をしっかりと整えなければいけないという事と、同じ様に 10 万円位のテント張りのグランピングをやるとまた同じ状況が生まれるという事があり得る。あとは場所が離れていて食事の提供だったりとか、その辺に人的サービスの欠落といたしますか、そこがうまくコントロールできない中で今現在はお休みしています。プール跡の所に関しましては、スノーピークさんの「住箱」といって箱型でサルが来ても壊されないといった所での運営なのですが、これも辺地債の関係で 2 年計画という事なので、完成が来年の秋以降ということになるため、そこから冬には販売が難しいので、再来年の春から発売みたいな形にはなろうかと思っています。ただここはいまうちの立地として考えて、あのロケーションからすると相当商品的にはクオリティが高い物というか価値のある物と考えています。そこをしっかりと準備をしながらというふうには思っています。

○布川委員

わかりました。

○高橋会長

他はいかがでしょうか。

○守屋委員

今のお話の流れで先ほどの工事の話で令和 5 年のリゾートプール改修工事の所が今のお話のグランピングということでスノーピークさんとの連携になっていて来年秋位に一応できてそこから稼働出来るような状況になるというそういう感じという事なのですね。わかりました。あともう 1 点、これは言葉の意味だけ教えていただきたいのですが、30 ページで事業活動方針の所で中盤の所にリピート率を高め宿泊特化型のホテルというふうに書いてあるのですが、ここでいうと宿泊特化型というのはどういうイメージで捉えれば良いですか。

○市野瀬委員

立地的に宴会とかそういったことに重点を置くのではなくて、宿泊というのは全国各地からという事も含めて胎内リゾートへ足を運んでいただける宿泊の方々をお迎えしたいという意味合いです。

○守屋委員

それはいわゆる市外からリゾートへという所でいらして宿泊される。それをメインターゲットとしてそちらにより重点を置いてやろうという趣旨でよろしいですか。わかりました。

○市野瀬委員

今までの過去胎内リゾートとなって、稼働率が 30%を過ぎて来たのが、ここではホテルとして人気は優れていないというところを含めて、今現状でリゾート全体ではなくロイヤル胎内パークホテル単体で黒字化を目指す上で稼働率が 50、60%まで引き上げていかなければいけない。ここはロイヤルの稼働率が上がるということで、昨年 1 年間の稼働率が 10%上がったんですね。それは全国支援だったり県民割という後押しがありましたけれども、その辺人数的にいうと 4,000 名位増えました。ということがその 4,000 名増えるという事、今度胎内市に足を運んでく

れた方々がそれだけ増えたという、稼働率 60%までもし引き上げることが可能となった場合、1 万人から 1 万 5 千人くらいの今現状でのこういう人達をお迎えしているという所で、あくまでもたとえば宴会とかそういうものではなくて宿泊に特化しておもてなしという部分で来た方々に喜んでいただくという。

○守屋委員

ありがとうございます。

○高橋会長

他はいかがでしょうか。それでは全体を通して何かあればご質問ご意見いただきたいのですがいかがでしょうか。

○布川委員

すみませんけれども、前回の会議で久世さんとか神田さんとか意見があって、布川からもわけのわからない提案をしたのだけれども、それを受けての今現在の概要というか戦力的ミーティングをさらに濃いイメージにしていると言っていたのだけれども、それ以外の説明はないのですか。

○事務局比企主任

布川さんから前回お話いただいたのが「市民応援隊」という事で、戦略ミーティングをサポートする生涯学習人材バンクのようなイメージで市民、関係者、自薦他薦問わずということでサポーターの神田さんの要請に応じて情報提供だったり協力をしていく人材バンクというのはいかがだろうかという話をいただいた中で、神田さんともその後、話をさせてもらったのですが、神田さんが 3 年間サポーターとして活動する中で、協力いただいたり情報提供を一般の方からいただいて取り組んできたというのがあるのですが、一方でその人達が主体的に行なうわけでは無くて、どちらかという神田さん「どこどこで何かやってよ」みたいな丸投げ的なお願いをされることも 3 年間の中で何回かあったという事で、自薦他薦問わず幅広くとなると少し危険かもねという話はしていました。

○神田委員

私も布川さんにこういう事を縄文の清水のあたりでやりたいのですよという提案をした時にすごくお手伝いしていただいて、ワークショップのご提案とかもいただいたりお手伝いもしていただいたりしたのですけれど、それは布川さんとの関係性があったりとか信頼できる関係があったりとかしてうまくいったのかなと思っているのですね。どっちかという情報提供もありがたいのですけれど、私としてはプレイヤーというか主体的に動ける人たちを捜しているというイメージなのですが、市民応援隊みたいな募集しますとそれはすごく有難いし情報を得られるのもすごく有難いのですけれど、生涯学習人材バンクみたいなのであればそちらの方で協力していただける方を主体的にという人達をお願いした方がいいのではないかなというの少し思いました。

○布川委員

伝わりました。その延長の話が観光ボランティアは待つのではなく目星を付けて取りに行った方が確実だろうと、同じ話なのですよ。

○神田委員

ボランティアガイドに関しては待っているだけでは本当に減るばかりだなと私も思っており

ますので、生涯学習人材バンクの人達に声を掛けていったほうがいいのではないかなと私も思いました。

市民応援隊という組織をこれから一から募集して作るよりは、今ある精力的に活動されている方々に観光にも参画していただけないかとかそういう話になってくると思います。

○高橋会長

他はいかがでしょうか。無ければその他という事で何か皆さんからありますか。事務局からはありますか。それではこの委員会については以上となりますので進行を事務局にお返し致します。

○池田課長

ありがとうございました。事務局から1つ、お手元に台湾のトップセールス訪問記録という資料をお配りしておりますけれど、これは去る6月28日から30日の3日間市長が台湾の方に行きまして、観光のインバウンドと米の輸出に向けてのトップセールスを行ってきた際の訪問記録です。旅行エージェント5社と日本米を扱っている業者1社を訪問してセールスしてきました。参考までにその記録を皆さんにお配りしましたので後程ご一読いただきたいと思います。何かご質問がありましたら私達の方にご連絡いただければと思います。連絡事項は以上です。それでは今回終了しましたので閉会の挨拶の方を平川副会長からお願いしたいと思います。

○平川副会長

皆さんお疲れ様でございました。アフターコロナという事で、観光に関しては日本全国で色々な事をやっています。今まで通りやってもおそらく同じ観光客数を確保できないということで工夫をされていると思いますが、やはり胎内市もそういう形で中身をその時々に応じて少しずつ変えて行かなければいけないかなと、見直しをかけて行かなければいけないかなと、大きな所はいいと思いますけれどもぜひその辺も含めて委員の皆様も是非ご意見を頂戴できればと思っていますので今後ともよろしくお願いを申し上げます。本日はありがとうございました。